

分かりやすい 感染状況の発信を

会派に所属しない議員
小谷 宗太郎



問（議員）

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、感染状況を示すデータが全数把握から定点把握に変更された。本市を管轄する乙訓保健所も定点報告として感染情報を発信しているが、市民からすれば定点当たりの報告数がどのくらいの数値になれば、新型コロナウイルス感染症が流行していると言えるのか見当がつかない。感染拡大を予防するためには、感染対策が必要な人や高齢者施設等の事業所に対し、分かりやすい情報を発信すべきであると考え。市が独自の基準を設けて、市民に感染状況を発信してはどうか。

答（市側）

市民への感染状況の発信については、国において定点観測値の状況や重症化率、医療提供体制の負荷状況などの推移を総合的・専門的に検証した上で全国一律の基準が示されることが望ましい。そのため市独自の基準の設定は考えていない。

その他の
一般質問

新しい観光資源の創出について



一 般

質

問

6月定例会では、17名の議員が行政全般について、市長などの執行機関に対し、さまざまな角度から質問しました。
ここでは、その質問の一部を掲載します。

子どものグラウンド 利用機会の増加を

会派に所属しない議員
川口 良江



問（議員）

ある小学校区では、子どもが走ったり、ボールで遊んだりできる公園やグラウンドがないため、外で遊べないと聞く。現在、子どもへのグラウンド開放は土曜日の午前中のみとなっているが、小学校区の中に子どもが安心して利用できる公園やグラウンドがない場合は、土曜日の午前中以外でも子どもの時間を優先しての校庭利用の配分を増やすことはできないか。

答（市側）

土曜日の午後や日曜・祝日の小学校の校庭利用については、学校開放事業で活用している。その運営は、各校区の学校開放運営協議会によって自主的に行われており、スポーツ少年団などの予約で全ての利用枠が埋まっている学校がほとんどである。市内各校区の事情に応じて、児童の遊び場としての校庭活用機会を増やせるよう、学校開放運営協議会と協議していきたい。

その他の
一般質問

子ども・子育て施策について／審議会のお知らせについて／専決処分を行うことについて

一般質問ってなに？

一般質問とは、本市の行政事務全般について、議員が疑問に思ったことなどを質問することです。議案とは何ら関係なく、自由に質問できることが特徴です。
ぜひ、傍聴にもお越しください。



校内フリースクールの設置を

平成西山クラブ
白石 多津子



問（議員） 不登校の児童・生徒にとって、居心地の良い場所が校内にあることは大切である。校内フリースクールは、全国的にはまだ数少ない取り組みではあるが、不登校児童・生徒が自分の居場所を見つけるうえで選択肢の一つになりうると考える。本市でも、不登校児童・生徒への新たな支援の一手となる重点的な取り組みとして、校内フリースクールの設置を検討してはどうか。

答（市側） 現在、市内の学校においては、不登校につながるやすい別室登校をしている児童・生徒が増加している。学校内に居場所があることは、安心感につながるが、児童・生徒の社会的自立を目指す支援となることが期待される。本市でも、校内の別室に専属の支援員を配置し、学習機会の確保ときめ細やかな支援を行う、校内フリースクールの設置ができないか、庁内で検討を進めていく。

その他の
一般質問

介護人材確保に向けた取り組みについて

子どもの性に関する自己決定の尊重を

日本共産党
中村 歩



問（議員） 小中学校における脱衣での健康診断について様々な議論があるのは、児童・生徒の性の問題は個人の尊厳に関わるという認識が社会全体に浸透しつつあるためだと考える。児童・生徒が学校で、性に関して自己決定できる力を獲得していくことが大事であり、子ども自身の決定を大人が尊重することを子どもたちに伝え、実践することが必要だと考えるがどうか。

答（市側） 学校では、児童・生徒が性に対して、正しく理解し、適切な行動を取れるよう働きかけが必要だと考える。健康診断の在り方については、子どもたちにその目的や役割、方法や理由を説明して意見を聞き、心情への配慮も十分に行いながら対応してきた。子ども基本法では、子どもの意見を表明する機会の確保が基本的理念に掲げられており、法の趣旨に基づき学校教育を推進していきたい。

その他の
一般質問

会計年度任用職員の処遇改善と雇用の安定について／犬川の遊歩道について／まちなかに休憩できるベンチを

～この言葉ってどういう意味？～ 語句解説コーナー



全数把握・定点把握

いわゆる「感染症発生動向調査」における調査方法です。全数把握は、全ての医療機関に対して患者の報告を求めるものです。定点把握は、全国各地であらかじめ指定した医療機関から定期的に患者数の報告を求めることで、動向を推定する方法です。

校内フリースクール

小・中学校の不登校児童生徒の支援施策の一つであり、教室に登校できない児童・生徒が、自由な時間に登校し、校内の別室で自由に過ごす居場所のことです。

コード化点字ブロック

通常の点字ブロックの25個ある点に色をつけたもので、これをスマートフォンのアプリで読み込むことで、歩行サポートなどの音声情報を提供できるものです。また、視覚障がい者の方への情報提供だけでなく、観光客や外国人に向けた情報提供も可能です。

コード化点字ブロックの導入を

日本共産党
広垣 栄治



問（議員） 新庁舎の西玄関から総合案内までは点字ブロックが設置されておらず、設置が必要と考える。点字ブロックは、視覚障がい者を誘導する最も有効な手段である。現在研究が進められているコード化点字ブロックは、音声での情報提供が可能であり、視覚障がい者も含め全ての方が、案内情報を得られるメリットがある。本市でもコード化点字ブロックの導入に取り組んでいくべきだと考えるがどうか。

答（市側） 西玄関への点字ブロックの設置については、2期庁舎の完成に合わせ総合的に検討したい。また、コード化点字ブロックは、既存の点字ブロックを張り替えることなく、比較的容易な設置により視覚障がい者へ音声での情報提供ができる、新たな仕組みと認識している。現状では設置事例も少ないため、利用者のニーズ等も把握しながら、引き続き情報収集していきたい。

その他の
一般質問

自転車利用者のヘルメット着用の努力義務化について

阪急長岡天神駅西口の まちづくりは

日本共産党
小原 明大



問（議員） 現在、長岡天神駅西口で高層ビルの建築が進んでいる。線路沿い南側を観光、商業ゾーンと想定していた阪急長岡天神駅周辺整備基本計画の想定外の動きであり、今後のまちづくりに大きく影響すると考える。市は、暮らしやすさとまちのブランドとして、どのようなことを考え長岡天神駅西口のまちづくりに取り入れようとしているのか。

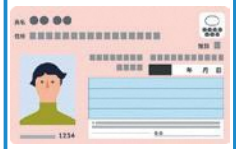
答（市側） 本市では、定住促進を目的として「かしこ暮らしっく長岡京」をブランドコンセプトとしたシティプロモーションを推進してきた。このコンセプトは、長岡天神駅周辺のまちづくりにおいても同様である。長岡京都市計画マスタープランにおいても、駅周辺を都心ゾーンとして位置づけており、東西市街地の一体性や回遊性、地域の玄関口としての魅力創出につながる高度利用を前提とした土地の有効利用が必要だと考えている。

その他の
一般質問

公共施設整備基金について

健康保険証廃止に伴う 資格確認書の交付は

日本共産党
住田 初恵



問（議員） 国は、マイナンバー法を改正し、健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一本化することとした。これを受けて、カードの発行が難しい人やカードを紛失した人に対し、申請に応じて資格確認書を交付することとした。健康保険法施行規則第47条には、保険者は保険証を交付する義務があると示されている。市は、法施行規則に則って資格確認書を交付すべきだと考えるがどうか。

答（市側） 国は、保険者が必要と認める場合は、申請によることなく、職権で資格確認書の交付、提供ができる規定を設ける方針を示したところであるが、現時点では具体的な制度設計や実務上の運営方法などは示されていない。国では地方公共団体などの意見を踏まえ、今後詳細については政省令を定める予定としており、本市としては国が定める政省令などに即して対応していく。

その他の
一般質問

新型コロナウイルス感染症5類移行後の高齢者施設の抱える課題／共生型福祉施設について

高齢者へのタクシー チケットの支給を

日本共産党
二階堂 恵子



問（議員） タクシー料金が値上げされ、利用者には負担であるとの声を聞く。他市では、70歳以上の高齢者や介護度1以上の方へタクシーチケットを支給する制度がある。本市でも高齢者への負担軽減を図るとともにタクシー事業者を援助するため、他市のような制度を取り入れられないか。

答（市側） 本市では、65歳以上のブランドパス購入の方を対象に、購入補助やタクシー乗り継ぎの初乗り運賃無料券の交付事業を実施している。また、一定の障がいを持ち、外出の支援が必要な方には、タクシー利用等の割引を受けられる愛のタクシーチケット事業を行っている。これらの施策を通じて、タクシーを含めた既存の公共交通を活用しながら、市民の外出を支援するとともに、持続可能な公共交通を実現する取り組みを進めている。そのため、現時点で他市と同様の制度の実施は考えていない。

その他の
一般質問

急速に進む住宅開発について／みんなが利用する私道の老朽化について

マンション管理適正化 推進計画の策定は

公明党
福島 和人



問（議員） 全国的に築40年超のマンションは、管理組合の機能低下等により、管理不全に陥ることが少なくない。マンション管理適正化法が改正され、マンション管理適正化推進計画を策定した自治体は、適切な管理計画を有するマンションを認定できる管理計画認定制度が昨年4月に施行された。認定後、5年ごとに更新が必要のため、マンション側は管理水準を維持する意識が高まり、住民の住みやすさの向上につながるものとなる。本市でも推進計画を策定し、認定制度を導入すべきと考えるがどうか。

答（市側） 本市では、今年度中にパブリックコメントの手続きを経て推進計画を策定し、令和6年度から認定制度を開始したいと考えている。推進計画に掲げる各種施策を通じて、良好な住環境を維持向上させるとともに、民間によるまちの新陳代謝を促すことにつなげていきたい。

その他の
一般質問

次世代につなぐ ガラシャ祭に向けて

平成自民クラブ
中小路 貴司



問（議員） 今年が30回記念の年であるガラシャ祭は、これまで実行委員会でも様々な企画を検討し、市民や商工会、企業の参加の下で作り上げてきた祭りである。昨年、市制50周年を迎えた歴史文化の香る本市は、次の50年に向けてスタートを切ったところである。市は、次世代のガラシャ祭をどのようにしていくと考えているのか。

答（市側） 実行委員会では、30回記念に向け、これまで以上にプロモーションを強化し、様々な場面で多くの関係者の巻き込みを行うことで、より多くの市民や観光客に参加していただくことや、祭りのグリードアップができる企画を検討しているところである。今回限りの一過性にとどまらず、大いににぎわい、将来への発展が楽しみなガラシャ祭となるよう、市も実行委員会や市民の皆様と一丸となって取り組んでいきたい。

その他の一般質問 教育の充実・向上に関して

犬の実飼育頭数の把握を

輝（かがやき）
干場 志都恵



問（議員） ペットとともに暮らすうえで、ペットがいることで避難が困難になるなど、飼い主の命の危険につながるような災害時の対応が重要となる。狂犬病予防法により、生後91日以上の犬を飼育する飼い主は、犬を登録する義務があるが、登録義務を知らない方もいると聞く。そのため、市が把握している犬の登録頭数と実際の飼育頭数に差があると思われる。ペットを受け入れ可能な避難所の整備など、災害時の対応にも関わることから、犬の飼育頭数の実数を知ることが必要だと考えるがどうか。

答（市側） 飼い主が、転入時に犬の登録の手続きを失念、遅延することなどで、実際の飼育頭数と登録頭数の差異が生じていることは承知している。実数の把握は難しいと考えるが、未登録の飼い主に市役所で登録手続きを行っていただくよう、広報紙や動物病院などを通じて呼びかけに努めたい。

その他の一般質問 サイクルツーリズム

AI音声認識システムを 試験導入しています！！



議会では、令和5年6月定例会から、一般質問の2日間について、聞き取りが難しい聴覚障がい者の方や高齢者の方などに向けて、議場内のモニターで発言内容が可視化できるシステムを試験導入しています。

議場内のマイクを使用して
発言をすると・・・



次に日程2、
会期の決定を
議題とします。

リアルタイムで議場モニターに
発言内容が表示されます！



発言内容
次に日程2会期の決定を議題とします。
お諮りします。この定例会の会期は本日から
26日までの18日間とすることにご賛成ござい
ませんか。
異議なしと認め、会期は18日間と決定しま
す。

給食費の在り方は

平成西山クラブ
上村 真造



問（議員） 世界情勢の悪化や原油高などによる物価高騰など、今後も食材価格の上昇が見込まれる。次年度以降、給食費を値上げするのか、質を落とすなどして価格を据え置けるのか、子どもや保護者の意見を踏まえて判断する必要があると思うが、市の考えはどうか。

答（市側） 本市では、これまで給食の質の高さにこだわって提供してきたが、今般の物価高騰下において、その質を維持するためには、値上げは避けられない状況にある。今後の給食費の在り方について検討するにあたり、まずは子どもや保護者にこれまでの経過や現状、課題をお知らせしたうえで、アンケートを実施する予定としている。保護者負担を原則としながらもアンケート結果などを参考に、保護者や子どもの求める給食の質と家計への負担の適正なバランスを見定め、判断したい。

その他の一般質問

長岡天神駅周辺整備の 視覚障がい者への配慮は

輝 (かがやき)
大伴 壘



問 (議員) 阪急長岡天神駅西側の市道2012号線は、道路交通法上、点字ブロックの設置ができないと聞く。市として、積極的に視覚障がい者の方々と協議を行い、市道2012号線の合理的配慮に基づく整備の検討を進めるべきだと考える。現在の検討状況はどうなっているか。

答 (市側) 市道2012号線については、視覚障がい者の方々と協議を重ねながら、点字ブロックの設置以外に、視覚障がい者への誘導線を設ける環境整備の方法がないか調査研究を進めてきた。現在検討している案として、道路の一部を縦断的に別の材質に打ちかえる整備はどうかと考えている。整備を実施するにあたっては、当事者の声を聞いたうえで合理的配慮が提供できるよう交通管理者はもとより、景観や福祉分野の関係者などと実現に向けて引き続き協議していきたい。

その他の一般質問 ごみの減量化について／長岡京文化センターについて

ジャブジャブ池の 市民優先利用を

輝 (かがやき)
富田 達也



問 (議員) 西山公園ジャブジャブ池は、小さな子どもたちが無料で水遊びができる場として、市民のみならず、市外からもたくさんの方が集まるレジャースポットである。しかし、コロナ禍においては、利用の完全予約制を導入したことで、予約がすぐ埋まり、なかなか利用できないという市民の声を多数聞く。市民が、優先的に利用できるように対策の検討が必要ではないか。

答 (市側) ジャブジャブ池については、完全予約制を導入して以来、池内の安全が確保されるとともに交通渋滞も解消されており、利用者からおおむね好評を得ている。そのため、今後も完全予約制を継続していきたいと考えており、市民の優先予約の実施については、今夏に試験的に行えないか検討している。本格実施にあたっては、利用状況や試験の結果などを勘案して検討したい。

その他の一般質問 市民協働のまちづくり (LINE通報システム) / 農業振興

ふえいすぶつく 長岡京市議会公式 Facebook



Facebookページ「京都府長岡京市議会」では、さまざまな議会の情報を発信し、適宜更新しております。

Facebookのアカウントをお持ちの方は、今後ともどんどん「いいね!」「フォロー」「シェア」をお願いします。

Facebookのアカウントを持っていなくても閲覧できます！
ぜひ一度、ご覧ください！



☎ QRコードからチェック！

自転車ヘルメット 購入の補助は

公明党
石井 啓子



問 (議員) 道路交通法が改正され、令和5年4月から自転車利用者にはヘルメット着用の努力義務が課された。自転車乗車中の死亡事故について、ヘルメット着用時と比較して非着用時は約2・3倍も致死率が高いことが明らかとなっている。現行法では、努力義務であり罰則もないことから、ヘルメットを着用する人は少ないと感じる。市は、ヘルメット着用を促すためにも、ヘルメットの購入にかかる費用を補助すべきだと考えるがどうか。

答 (市側) 本市では、ヘルメットの着用について、広報紙やLINEなどによる周知や、小学生や高齢者を対象とした交通安全教室などで、啓発に取り組んでおり、4月以降ヘルメット着用者が徐々に増えていると認識している。現在のところ、購入と連携しながら、啓発・普及に取り組んでいく。

その他の一般質問 (仮称) 介護予防センターの運営に関して / 熱中症対策に関して / 「災害本部」における非常電源に関して

保育の質の向上と 公民連携について

平成西山クラブ
田村 直義



問（議員） 保護者が、子どもを安心して預けることができるよう、全ての保育施設において、保育の質を向上させることが何よりも重要である。本市では、今年度から現役の保育所長が専任の相談員として配置されたが、その目的、役割は何か。また市は、全ての保育施設において保育の質を向上させるために、どのような支援体制をとり、公立・民間の保育施設との連携を図るのか。

答（市側） 専任相談員は、今年度新たに実施する利用者支援事業において、子育て家庭などからの保育サービスに関する相談に応じ、地域の各種保育サービスや保育所に関する情報提供や利用に向けての支援などを担当する。順次、相談員が民間の保育施設を訪問し、公民のつながりや連携を深めているところであり、相互に意見を交わすことなどにより、市内の保育施設全体の質の向上を図っていききたい。

その他の
一般質問 未来へのまちづくりに関して

学校防災対応 マニュアルについて

輝（かがやき）
宮小路 康文



問（議員） 文部科学省は、過去の災害の教訓を踏まえ、地震や津波が発生した場合の具体的な対応について学校防災マニュアル作成の手引きを作成した。学校ごとに毎年、緊急時の全職員役割分担や、防災計画の作成が義務付けられていると聞かすが、本市ではどのように対応しているか。

答（市側） 本市では、全小・中学校に防災計画を備えており毎年、年度当初に教職員の役割分担をはじめ、防災対策や災害発生時の具体的な手順など、非常時に備えた基本的事項を確認し、適宜必要に応じた見直しを行っている。併せて年2回以上実施する避難訓練への児童・生徒の参加や、発達段階に応じた防災教育を通じて防災意識の醸成を図っている。引き続き児童・生徒への防災教育に積極的に取り組むとともに、家庭や地域とも十分連携しながら、学校の防災体制づくりを進めていく。

その他の
一般質問 上半身脱衣での健康診断

議会TOPIC

委員会ってどんなもの？

常任委員会

常任委員会は、本会議から付託された議案や、多岐にわたる市政業務について、より深く話し合うため、それぞれの分野に分かれて審議や調査を行う機関です。

付託議案の審査のほか、それぞれの委員会が所管する分野でいま課題となっていること、これから進めていくべき方向性について、独自で調査や研究を行っています。

長岡京市議会には、現在以下の4つの常任委員会があります。

総務産業常任委員会

企画、総務、農林業、
商工業、防災など

建設水道常任委員会

都市計画、道路、交通、
公園、上下水道など

文教厚生常任委員会

福祉、保健、子育て、
教育、文化、環境など

予算審査常任委員会

予算に関すること

特別委員会

特別委員会は、特定の市政の課題等に対応して、必要なときに設置されます。

9月定例会では、決算を審査するための決算審査特別委員会が設置されます。

ほかに、現在は新型コロナウイルス感染症対策特別委員会と、議会改革特別委員会が設置されています。

ほかにも...

議会運営の協議や議会改革の取り組みを進める議会運営委員会、市政の課題などへの調査研究のための議員政策研究会などもあります。